

令和4年第11回総務文教常任委員会 要点記録

開閉会日時	令和4年12月15日（木曜日）			開会	13:25	会議場所		別海町議会 委員会室2・3	
				閉会	14:47				
委員の出欠	1 番	横田 保江	出席	6 番	大内 省吾	出席	7 番	木嶋 悦寛	出席
	10 番	小林 敏之	出席	14 番	佐藤 初雄	出席			
出席説明員	総務部	総務部長		総務部次長兼総務課長		総合政策課長		ふるさと応援・情報化推進室長	
		浦山 吉人	出席	伊藤 輝幸	出席	寺尾真太郎	出席	松本 博史	出席
		財政課長		税務課長		防災交通課長		尾岱沼支所長	
		角川 具哉	出席	竹中 利哉	出席	麻郷地 聡	出席	大坂 恒夫	出席
		西春別支所長		総務課主幹		ふるさと応援・情報化推進室長代理		総合政策課主幹	
		小村 茂	出席	佐藤 亮	欠席	山田 哲哉	欠席	橋本 達也	欠席
		防災交通課防災監		防災交通課主幹		総務課主査		総合政策課主査	
		三瓶 秀憲	欠席	深川 淳一	欠席	武田 聖士	欠席	金澤 亮太	欠席
		財政課主査		財政課主査		税務課主査		税務課主査	
		佐藤 貴也	欠席	戸野 晶雄	欠席	伊藤 武史	欠席	高橋 克彦	欠席
		防災交通課主査		防災交通課主査		西春別支所主査			
		寺澤 淳司	出席	相馬 儀彰	欠席	佐藤 政士	欠席		
	選挙管理委員会	書記長		書記					
		伊藤 輝幸	出席	佐藤 亮	欠席				
	別海消防署	別海消防署長		別海消防署副署長		別海消防署副署長兼予防課長		別海消防署警防課長	
		山田 勝人	欠席	山桑 貴光	欠席	西塚 隆幸	欠席	太田 裕司	欠席
	教育委員会	教育部長		教育部次長兼学務・スポーツ課長		生涯学習センター長兼中央公民館長		指導主幹	
		山田 一志	出席	宮本 栄一	出席	新堀 光行	出席	相澤 要	欠席
		指導主幹		指導参事		学校教育課長兼学校給食センター長		生涯学習課長兼中央公民館副館長	
		稲村 和典	欠席	吉光寺 勝己	欠席	池田 卓也	出席	福原 義人	出席
		西公民館長		東公民館長		図書館長・郷土資料館長他		学務・スポーツ課主幹	
		小村 茂	出席	大坂 恒夫	出席	堺 啓	出席	斎藤 陽	欠席
		学務・スポーツ課主幹		学校教育課主幹		西公民館副館長		東公民館副館長	
		恒川 敦史	出席	堀込 美穂	欠席	木戸口 誠	欠席	立澤 雅彦	欠席
		郷土資料館副館長		郷土資料館主幹		学務・スポーツ課主査		学校教育課主査	
		石渡 一人	欠席	戸田 博史	欠席	大山 晋作	欠席	高津 寛人	欠席
		生涯学習課主査他		学校給食センター主査		図書館主査			
		上杉 大洋	欠席	平下 奈津子	欠席	吉田 美奈子	欠席		
								欠席	
委員外の出席	議長		西原 浩					合計	1名
事務局職員	局長		干場 富夫					合計	1名
傍聴者数	一般		0名	報道関係者		0名			合計 0名

令和4年第11回総務文教常任委員会 要点記録

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 7番 木嶋	13:25 開会
	出席委員5名、委員外1名、会期1日
	挨拶
総務部長 浦山	挨拶及び概要説明
委員長 7番 木嶋	議事1 提出議案審査について
	・本委員会に付託された案件の審査を行う。付託されたのは「議案80号別海企業版ふるさと納税基金条例の制定について」で、本議案の内容は本会議で説明を受けているが、多少理解しづらい部分もあるので、改めて本会議において説明を受け、その後質疑を行う。 ・資料により説明 条例の提案理由や各条文の内容については、本会議において総務部長の方から説明しているので省略するが、企業版ふるさと納税の制度の概要と提出した条例案のうち、第5条の繰替運用という規定の内容などについて補足的に説明。 繰替運用とは、一般会計の資金運用を行っている中で、資金が不足することが見込まれた場合には、その基金会計から借り入れすることができるというのが繰替運用という制度になる。 基金会計にとっては、定期預金等で積んでいるものを崩して、一般会計に貸し付けることになるので、利率は幾らでいつまでに基金会計に戻すのか等をきちんと定めて運用する必要がある。 第5条は、そういうことをきちんと定めれば繰替運用をできるという条文のとなっている。この繰替運用の規定は、ほとんどの基金条例で設けているが、あくまで念のための規定であり、通常は民間の金融機関から日単位で借りる一時借入金制度を活用しているところである。 第7条の委任の条文で、基金の管理に関し必要な事項は町長が別に定めると規定しているが、本基金条例の規則等の制定予定については、今のところこの基金の管理に関しては、規則を制定するまで必要な事項はないと考えている。 ただし、企業版ふるさと納税を受けるまでの事務処理的な手続、例えば、寄附の申し出書、受領証明書等の様式を定めた事務処理要綱については、今後、本基金条例の関連とは別に定めていく予定としている。
委員長 7番 木嶋	・質疑。
委員 14番 佐藤	・法人税最大90%を受けれるということだが、所得税や町道民税への影響はありますか。
総合政策課長 寺尾	・税額の方で影響があるのは、法人税、法人事業税、法人住民税等の法人関係税だけに影響するので、所得税の方には影響がないとは思っている。
委員長 7番 木嶋	・他に質疑あるか。
委員 一同	・質疑なし。
委員長 7番 木嶋	討論
	・これから討論に入る。 - 討論あるか。 ・討論なし。
委員 一同	
委員長 7番 木嶋	採決
	・これから採決する。 - 原案のとおり可決することに異議あるか。 ・異議なし。 ・原案のとおり可決することに決定。
	【総務部所管事務調査】
委員長 7番 木嶋	議事2 所管事務調査について
	(1) 新型コロナウイルス感染症対策について
総務部長 浦山	・資料により説明 ・オミクロン株対応ワクチン接種の接種率は、12月11日現在で5,758人、42.5%。感染者は多い状況ではあるが、重症につながっていないというのは、やはりワクチンの接

令和4年第11回総務文教常任委員会 要点記録

	種も進んでいるからかなというふうに、判断しているところ。
委員長 7番 木嶋	質疑
委員 一同	・質疑なし
委員長 7番 木嶋	(2) ふるさと納税制度について
ふるさと応援・情報化推進室長 松本	・これまでの経過として、9月補正の段階で12月議会の最終日あたりが40億円に到達すると見込んでおり、当時から着地は62億円という予測のもと40億円の補正をしていたということ。
	本定例会初日に町長から、行政報告の中で、到達したという話があったが、昨日で45億円に至っている。 現在、1日当たり約9,000万から1億円ずつ寄附が入っている状況で、このまま年末までその数字のままいくと、今回補正で要求した60億円には到達することになるが、こればかりは変動がいろいろ起きることがあるので、まだ何とも言えないというところ。 なぜ、ここまで飛躍できたのかというと、本町が類いまれな生産地であって、もちろんは私たち部署が強化されて努力はしているが、実際、寄附を受け付けるだけの返品品をこれだけ用意できる町が他になかなかないというのが実態のところではないかなと思っている。 12月になってくると、1日当たり発想の件数が相当でございまして、別海町から全部発送するのは困難なため、前もって埼玉と札幌の倉庫に主力の返品品は納品をしていて、あらかじめ袋詰めをして、出荷依頼がきたらすぐ伝票だけ貼って出すような状況の準備をしており、それらの倉庫から1日最大6,500件発送できる体制をとっている。 また、各事業所からの発送もあるので、1日当たり7,000件から8,000件ぐらい、今月発送できる体制を整えてきている。 このように、年内の発送を伸ばせられなかったというのが昨年度の反省だったので、今年4月から、その準備をずっと行ってきたということが、現状、功を奏しているということ。 今後の展望としては、正直、この制度を熟知すればするほど伸びてるところしか伸び続けないという制度であるなという実感をしている。 私どものところにも、もともと私たちよりも寄附額が多い自治体から電話がかかってくることもありまして、この2年下がってるんですけどどうでしょうかとか、いろんな悩みが寄せられるんですけど、もうかつて20億円とか集めている自治体でも、下がっているところが出てきている。 100億円に到達している自治体はお金を持っているので、宣伝力がどんどん増していって、例えば、本町のようなホタテの生産地が押されそうになるような状況もある。 現に、北見市さんとか稚内市さんとかは、結構ホタテの生産地だが、かなり厳しい状況になっており、ホタテをとっていないけど加工して出してる町の力の方が強くて、本来の生産地としての歴史的な経過とかかっていうところが、このふるさと納税制度のちょっと影の部分というか、そういったところで何だかよくわからなくなってしまうようなところがある。 このため、本町としては、来年以降も以前説明したように、決して寄附額争いとかそういう考えではなく、生産地としてしっかり選ばれるための努力は続けていかなければならないと考えている。
委員長 7番 木嶋	・うれしい報告もあると思うので、そちらを追加で報告してほしい。
ふるさと応援・情報化推進室長 松本	・実は昨年、エッセという女性向けの雑誌があるが、その企画の提案があって、野付産のホタテや町内のお菓子屋さんのケーキを出品したところ、金賞を受賞しており、受賞すると注文がすごく増えるというようなちょっと仕組みがある。
	今回も、プレゼンテーションをして、乳業公社のバターが金賞になり、いくらが全体のグランプリだった。 結構いくらが生臭いとかっていう評価を書かれることがたびたびあって、やっぱりいくらを食べ慣れていない人にとっては、評価が千差万別なんですけども、今回、しっかりとした審査員で非常においしいという評価をいただいて、事業者さんも自信を持っている。 この効果が、今月発売のエッセとか渋谷のスクランブル交差点の映像で今月ずっと別海町のいくらがグランプリということを宣伝されており、その他にも東急電鉄の中づり広告とかいろいろなところで宣伝されていることが、飛躍の要因となっている
委員長 7番 木嶋	質疑
委員 一同	・質疑なし

令和4年第11回総務文教常任委員会 要点記録

委員長 7番 木嶋

防災交通課 寺澤

議事3 その他

(1) 防災対策の推進について

・日本海溝、千島海溝沿いの領域では、過去にも大きな地震や津波が繰り返し発生しており、巨大地震の発生が切迫している状況になっている。

記憶に新しいところと言うと、2011年の東日本大震災についても、マグニチュード7.3の地震があった2日後にマグニチュード9.0の地震が発生している。

日本海溝千島海溝沿いにおいては、今後も、先発地震の後に、より大きな後発地震が発生する可能性があり、巨大地震による甚大な被害を少しでも軽減させるために、北海道・三陸沖後発地震注意情報を発信して、巨大地震の発生が平時より高まっていることへの注意を促すこととなった。

後発地震注意情報の発信については、地震発生後、正確なマグニチュードが確定する約2時間後に、気象庁と内閣の合同記者会見で発表されることになる。

この発表を受け、各自治体では、防災行政無線などを用い、地域住民に対して情報発信を行うことになる。

この情報の発信期間は地震発生から1週間。

対象地域は、震度6弱以上または津波高3メートル以上が想定される地域で北海道から千葉県の市町村が対象となり、182自治体が対象。

この情報が発信された場合、あくまで事前避難や、経済活動の制限を求めることはない。

あくまで、社会経済活動は継続した上で、地震への備えの再確認や発災時にすぐ避難できる準備を呼びかけることになる。

町においては、この先発地震の震度や津波情報によってそれぞれの配備体制にて対応することとし、その後、この情報発信期間中にその配備体制が解除となった場合には、第1非常配備にて継続して対応することとしているので、後発地震注意情報発信中については、最低でも防災交通課職員による第1非常配備の警戒体制はとることとしている。

・他に何かあるか。

・質疑なし

委員長 7番 木嶋

委員 一同

委員長 7番 木嶋

総務部 14:17 終了 休憩

【教育委員会所管事務調査】

委員長 7番 木嶋

14:25再開 委員長挨拶

教育部長 山田

挨拶及び概要説明

・本日の所管事務調査事項については、「新型コロナウイルス感染症対策について」及び「成人式について」の2点について説明させていただく。残りの「学校教育の充実について」及び「別海高等学校教育支援事業」に「新型コロナウイルス感染症対策」を加えた3件については、引き続き閉会中の調査とすることで、委員長と協議をさせていただいている。

委員長 7番 木嶋

議事2 所管事務調査について

(1) 新型コロナウイルス感染症対策について

・第10回の委員会中で説明を受けておるということで、割愛させていただいてよろしいか。追加の何かないですね。

・はい。

・それでは、この件については割愛します。

・異議なし

教育部長 山田

委員長 7番 木嶋

委員 一同

委員長 7番 木嶋

(6) 成人式について

生涯学習長 福原

・別海町成人式関する町民等への周知内容について資料により説明

本周知については、広報1月号、別海高校全生徒及び保護者への配布、町HP及びSNSを活用して周知徹底を図る。

・質疑

委員長 7番 木嶋

委員長 7番 木嶋

・別海高校に通っていない同年代の子供たちにはどう周知するのか。

生涯学習長 福原

・別海高校以外に通学されている生徒さんについては、大変恐縮だが町の広報、HP、SNS等でご確認いただくような考え方。

令和4年第11回総務文教常任委員会 要点記録

委員長	7番	木嶋	•それでいいのか。 •委員長がおっしゃったのは、要するに別海高校以外に通う高校生に対しての周知の方法をどうするのかということか。 •同様に直接連絡できるような形をとったほうがよろしいんじゃないでしょうか。 - 別海高校だけじゃないので、多少手間にはなるがその必要はあるんじゃないか。 •御指摘された件については、住基から抽出して報告と連絡をさせていただく。 •他に質疑あるか。 •質疑なし
教育部長		山田	
委員長	7番	木嶋	
生涯学習長		福原	
委員長	7番	木嶋	
委員		一同	
委員長	7番	木嶋	
教育部次長		宮本	
委員長	7番	木嶋	議事3 その他 (1) 別海町出身選手のワールドカップ成績等について •新濱、森重、野々村選手の3名は、先月から海外3カ国を巡ってのワールドカップスピードスケート競技大会に出場していたが、第3戦まで終了し、第3戦までの最高成績は森重選手が第2戦の500メートルで2位、新濱選手が第3戦の500メートルで2位、野々村選手が第3戦の1,000メートルで5位にそれぞれ入賞した。 今後も、スケートに限らず、日本を代表して世界に羽ばたく本町出身選手を全町民が一体となって物心両面で支援していきたいと考えているので、議員各位におかれましても、支援や応援についてよろしくお願ひしたい。 閉会挨拶 14:47 閉会
委員長	7番	木嶋	